

第2学年*組 外国語（英語）科学習指導案

指導者 海老澤 絵美子

R4 研修センター長期研修

1 単元名 Unit 6 Research Your Topic (New Horizon English Course 2 東京書籍)

2 本単元の目標 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。

(知識及び技能)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて説明したり伝え合ったりする技能を身につけている。</p>	<p>調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査結果や意見を伝え合ったりしている。</p>	<p>調査や発表の効果的なやり方について考えるために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、特徴を比較しながら調査結果や意見を伝え合ったりしようとしている。</p>

4 単元について

(1) 教材観

本単元では、人気映画のランキングや、インターネットのトリビアクイズの記事を用いた導入を行った後、生徒が実際にトピックを決め、クラス内で調査を行い、その結果を発表し、評価をするという教材である。関心のある事柄について課題を設定し、集めた情報を整理しながら、結果について伝え合ったり、発表したり、書いてまとめたりする言語活動を行うのに適した教材である。

(2) 生徒観

生徒の実態を把握するため、「笠間市で最もお気に入りの場所とその理由」について生徒に記述させる実態調査と、「英語を正確に書くこと」についての意識調査を行った（令和4年*月*日実施、*人）。実態調査では、生徒のパフォーマンスを評価する観点として、語順の正しさ、語や文法事項の正しさ、語数の3つを設定した。語順の正しさの観点でのC評価は*%、語や文法事項の正しさの観点でのC評価は*%、語数の観点でのC評価は*%と大きな課題が見られ、関心のある事柄について簡単な語句や文を用いて正確に書く力が十分に育っていないことが明らかになった。また、意識調査では、英語を正確に書くことについて自信があると答えた生徒は*%にとどまった。一方、英語を正確に書くことについて自信がないと答えた生徒は*%と多く、改善のための手立てを講じる必要があると考える。

(3) 指導観

本研究では、「話すこと（やり取り）」と「書くこと」の2つの領域を効果的に関連づけ、話したことを書き起こす統合的な言語活動のことを領域統合型言語活動と捉える。自分の考えや気持ちを口頭で伝えた後に、その内容を書く領域統合型言語活動を単元のまとまりを通して繰り返すことで、段階的に正確に書く力を育成する。また、本研究ではフォーカス・オン・フォームの指導手法を用いる。フォーカス・オン・フォームとは、第2言語習得に不可欠な3要素（言語形式、意味内容、言語機能）に十分配慮して、伝えたい意味内容の伝達を授業の中心としながらも、必要に

応じて生徒の注意を言語形式に向けさせていく試みである。インプット強化、インプット強化、インプット処理、の3つの手立てを用いることで、関心のある事柄について簡単な語句や文を用いて正確に書く力を育成する。

ア インプット強化

領域統合型言語活動で使用するワークシートの比較表現を太字で表す。また、教師用デジタル教科書を用いて、本文の主語に青、動詞に赤、新出文法事項に黄の下線を引き、大型提示装置で生徒に提示する。生徒も同様に教科書に下線を引く活動を行う。更に、領域統合型言語活動の後には、生徒が話したことを書き起こしたワークシートにも同様に下線を引くことで、言語形式に注目することができるようにする。

イ インプット処理

言語活動で生徒が話した内容を教師が書き起こし、黒板や大型提示装置で提示する。また、「主語」「動詞」「目的語」「補語」のマグネットシートを作成して黒板に貼ることで、文構造を視覚的に理解できるようにする。このように、例文を多数示すことで、文脈の中で帰納的に言語機能・意味内容・言語形式の結びつきについて気づくことができるようにする。

ウ ピア・エディティング

生徒同士で互いの書いたものを読み合い、内容面と言語面の観点でアドバイスを送り合う。特に、主語と動詞を的確に捉えて正しい語順で書けているか、正確に語が書けているか、文法事項を正しく用いて書くことができているかの観点からアドバイスを送り、英語使用の正確性を高めることができるようにする。

5 単元の指導計画（7時間扱い）

○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	思	態	留意点【評価方法】
1	1	<p>単元の学習の見通しをもとう。</p> <p>1 単元のゴールを確認し、単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>笠間市で最もお気に入りの場所について書いたガイドブックを作り、A E Tにプレゼントしよう。</p> <p>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>3 人気映画ランキングについてやり取りする言語活動を行う。</p> <p>4 教科書の動画を視聴し、気付いたことを伝え合う。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>				<p>知技：比較級や最上級の特徴の理解が難しい生徒には、やり取りした内容を書き起こしたものを大型提示装置で提示し、視覚的な理解を促す。</p> <p>【観察、ロイロノート】</p>
	2	<p>複数のものや人を比べて説明しよう。</p> <p>1 ウォームアップを行う。</p> <p>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>3 複数のものや人を比べて説明する領域統合型言語活動を行う。</p> <p>(話すこと(やり取り)→書くこと)</p>				<p>知技：文を書くことが難しい生徒には、互いの書いたものを読み合い、内容面と言語面を参考にしながら書くよう助言する。</p> <p>【観察、ロイロノート】</p>

		<p>4 学んだことを活用し、教科書の内容を理解する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>			
3		<p>身近で関心のある事柄についてクラス調査を行い、結果を発表しよう。</p> <p>1 ウォームアップを行う。</p> <p>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>3 関心のある事柄についてクラス調査を行い、結果を発表する領域統合型言語活動を行う。</p> <p>4 学んだことを活用し、教科書の内容を理解する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	○		<p>知技：文を書くことが難しい生徒には、互いの書いたものを読み合い、内容面と言語を参考にしながら書くよう助言する。</p> <p>【観察、ロイロノート】</p>
4		<p>最も好きな事柄についてクラス調査を行い、結果を発表しよう。</p> <p>1 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 最も好きな事柄についてクラス調査を行い、結果を発表する領域統合型言語活動を行う。</p> <p>3 自分が最も好きな事柄について正確に書く。</p> <p>4 学んだことを活用し、教科書の内容を理解する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	○		<p>知技：最上級(the best)の特徴の理解が難しい生徒には、多くの例文に触れることで、文脈の中で気づきを促すことができるようにする。</p> <p>【観察、ワークシート】</p>
5		<p>程度が同じくらいのことについてクラス調査を行い、結果を発表しよう。</p> <p>1 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 程度が同じくらいのことについてクラス調査を行い、結果を発表する領域統合型言語活動を行う。</p> <p>3 程度が同じくらいの2つのことについて正確に書く。</p> <p>4 学んだことを活用し、教科書の内容を理解する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	○		<p>知技：<as+原級+as>の特徴の理解が難しい生徒には、多くの例文に触れることで、文脈の中で気づきを促すことができるようにする。</p> <p>【観察、ワークシート】</p>
2	6	<p>笠間市で最もお気に入りの場所について伝え合おう。</p> <p>1 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 笠間市で最もお気に入りの場所について伝え合う領域統合型言語活動を行う。</p> <p>(1) 自分の最もお気に入りの場所について、ワークシートに自分の考えを整理する。</p>			<p>知技：自分の考えを書くことに戸惑いが見られる生徒には、モデル文を提示して、参考にしながら書くよう助言する。</p> <p>【観察、ワークシート】</p> <p>思判表：表現内容が目的・場面・状況に合っていない</p>

	<p>(2) 笠間市で最もお気に入りの場所について伝え合う。</p> <p>(3) 比較表現の特徴やきまりに気付く。</p> <p>(4) 学んだことを再度言語活動で活用し、笠間市で最もお気に入りの場所について伝え合う。</p> <p>(5) 話したことをワークシートに書き起こして下線を引き、語順や文法事項の正確性を確かめる。</p> <p>3 本時の学習を振り返る。</p>	○	<p>○</p> <p>生徒には、文章の構成の仕方を確認し、適切な内容を話すことができるよう助言する。</p> <p>【観察、ワークシート】</p> <p>主学態：意欲的な取り組みに課題が見られる生徒には、表現内容の中で望ましい部分を認めて励まし、工夫をしながら粘り強くあきらめないうで課題に取り組むよう助言する。</p> <p>○</p> <p>【観察、振り返りカード】</p>
7	<p>笠間市で最もお気に入りの場所について書いたものの正確性を高め、ガイドブックを完成させよう。</p> <p>1 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 笠間市で最もお気に入りの場所について書いたことの正確性を高める領域統合型言語活動を行う。</p> <p>(1) 前時に書いた文章を読み合い、目的・場面・状況に合った内容になっているかグループで確かめる。</p> <p>(2) 語順、語や文法事項のよく見られる誤りについて、どのように修正すればよいかグループで検討する。</p> <p>(3) グッドモデルを全体で共有する。</p> <p>(4) 学んだことを再度言語活動で活用し、笠間市で最もお気に入りの場所について修正して書く。</p> <p>(5) ワークシートに下線を引き、文の正確性を確かめる。</p> <p>(6) 笠間市で最もお気に入りの場所について発表する。</p> <p>3 単元の学習を振り返る。</p>	○	<p>知技：語順、語や文法事項の誤りが見られる場合には、誤りに下線を引いて個別支援を行い、正しい文の特徴に気付くことができるようにする。</p> <p>【観察、ワークシート】</p> <p>思判表：表現内容が目的・場面・状況に合っていない生徒には、文章の構成の仕方を確認し、適切な内容を書くことができるよう助言する。</p> <p>【観察、ワークシート】</p> <p>主学態：意欲的な取り組みに課題が見られる生徒には、表現内容の中で望ましい部分を認めて励まし、工夫をしながら粘り強くあきらめないうで課題に取り組むよう助言する。</p> <p>◎</p> <p>【観察、振り返りカード】</p>